

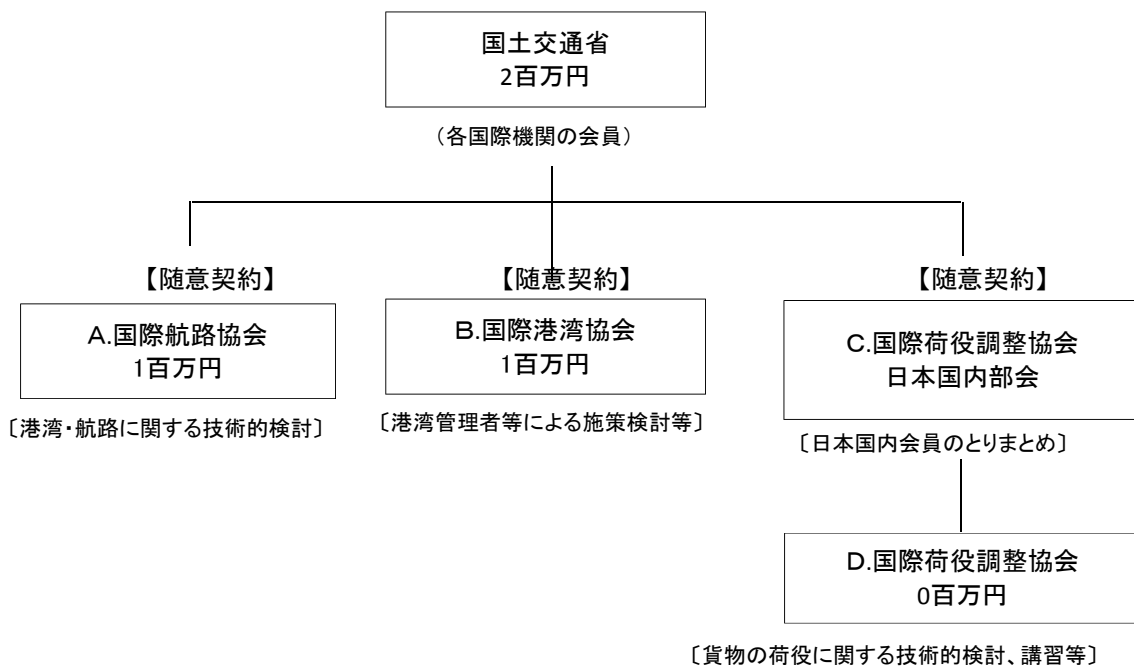
平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	国際港湾機関分担金	担当部局庁	港湾局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	S30~	担当課室	産業港湾課国際企画室	室長 中崎 剛			
会計区分	一般会計	政策・施策名	6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化 19 海上物流基盤の強化等総合的な物流体系整備の推進、港の進行、安定的な国際海上輸送の確保を推進する				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	閣議決定を経て加盟				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	港湾に関して世界的に強い影響力をもつ国・地域・団体が数多く加盟するこれら国際機関に加盟することで、世界の港湾の時流・政策をいち早く把握し、国内港湾施策に取り入れるとともに、国際的協定、基準の策定への積極的な参画により我が国港湾関連技術のグローバルスタンダード化を推進し、以って我が国の国益に資するものとする。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	港湾に関連した国際的な機関への分担金。現在、国際航路協会(PIANC)、国際港湾協会(IAPH)、国際荷役調整協会(ICHCA)に加盟しており、各機関の規約で定められた年会費を支払うもの。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	2	2	2	2	
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	2	2	2	2	
		執行額	2	2	2		
	執行率(%)	98%	90%	98%			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	総会等への出席等各機関の運営に参画し、加盟国とも連携を図りつつ、引き続き国際航路協会等に対して効率的な運営を求めていく性格のものであることから、成果実績を示すことが出来ない。		成果実績				
			達成度	%			
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	国際航路協会(PIANC)総会等、国際港湾協会(IAPH)総会等、国際荷役調整協会(ICHCA)総会等参加回数		活動実績(当初見込み)	4	4	5	—
				(4)	(4)	(5)	(5)
単位当たりコスト	(円/)	算出根拠	国際約束で決められた分担金を支出しなければならないことから、単位当たりのコストを算出することが出来ない。				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	国際港湾協会分担金	1					
	国際航路協会分担金	1					
	ICHCA分担金	0					
計	2						

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国民生活に直結する世界の港湾の潮流・政策の把握や国際的協定・基準の策定への積極的な参画は、国が確実に実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		-	各機関の規約で定められた分担金の支払いのみで最低限の拠出である。	
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
事業の有効性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	会議の場で日本の立場を発言する等、見込み通りの活動を行っている。各機関で策定された基準等は、我が国の港湾整備でも活用されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
重複排除	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	会議の場で日本の立場を発言する等、見込み通りの活動を行っている。各機関で策定された基準等は、我が国の港湾整備でも活用されている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
点検結果	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	総会への議決権を得る等、各機関の運営に参画する上で必要最低限の拠出であるが、加盟国とも連携を図りつつ、引き続き国際航路協会等に対して効率的な運営を求めていくこととしている。国際港湾機関に今後も加盟することにより、世界の港湾の潮流・政策をいち早く把握し、主導権を発揮する必要があると共に、日本が国際的港湾政策に対して、発言力を維持継続することは、我が国の国益に資するものである。予算は、理事会(PIANC32カ国、IAPH45カ国、ICHCA2カ国)で審議されたのち、総会で決定される仕組みとなっており、決定後の分担金は加盟国の債務として負担せざるを得ない。総会への議決権を得る等、各機関の運営に参画する上で必要最低限の拠出であるが、加盟国とも連携を図りつつ、引き続き加盟協会に対して、効率的な運営を求めていくこととしている。	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	384	平成23年	349	平成24年	360

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 国際航路協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
分担金	国際航路協会分担金	1			
計		1	計		0
B. 国際港湾協会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
分担金	国際港湾協会分担金	1			
計		1	計		0
C. 国際荷役調整協会日本国内部会			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
分担金	国際荷役調整協会分担金	0			
計		0	計		0
D. 国際荷役調整協会			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
分担金	国際荷役調整協会分担金	0			
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.国際機関(1団体)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際航路協会	分担金	0	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.国際機関(1団体)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際港湾協会	分担金	0	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.公益法人(1団体)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際荷役調整協会日本国内部会	分担金	0	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.国際機関(1団体)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際荷役調整協会	分担金	0	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					